



# Veterinarian Training Program Responsible for Infectious Disease Control to Solve One Health Problem in Asia and Africa

文部科学省 大学の世界展開力強化事業

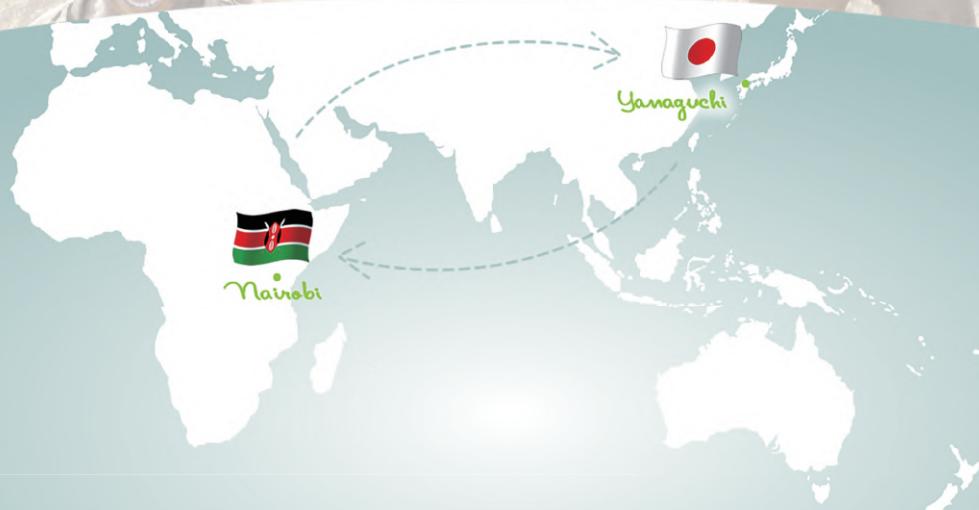
アジア・アフリカにおけるOne Health問題の解決に向けた  
感染症対策を担う獣医師育成プログラム



動物由来  
感染症



動物の  
感染症



UNIVERSITY  
OF NAIROBI



YAMAGUCHI UNIVERSITY  
山口大学



## ■ 感染症の制御に向けて

感染症の問題は、各地域に特有の地理的要因や社会的背景に起因し、ヒトや物流のグローバル化に伴つて急速に拡散することから、常に世界的な問題となります。実際、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）や新型インフルエンザウイルス感染症、エボラウイルス病などの動物由来の新興感染症や、農畜産分野で深刻な問題を引き起こす口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、高病原性トリインフルエンザなどの家畜感染症にみられるように、地域的な感染症から世界的なパンデミックに至る感染症は、ヒトの健康、食料供給、さらに経済活動等に対し大きな脅威となります。そのため、各地域の実情に根差した感染症対策が重要となってきます。

## ■ 本事業の目的

本事業では、山口大学共同獣医学部とケニアのナイロビ大学獣医学部の連携を軸に、アジア・アフリカにおける獣医学教育・研究の連携へと発展させ、One Health に関する問題のうち、特に重要な「感染症」に焦点を絞り、学生が相互交流によりグローバルな視点から学ぶことで、当該分野に貢献する獣医師を育成するプログラムの構築を目指します。



## ■ 本事業の概要

感染症の制圧には、公衆衛生や家畜衛生を基本とした疾病対策が重要であり、獣医師はその中心的な役割を担います。そのため、One Health に貢献できる獣医師のニーズは世界的にますます高まっており、グローバルな視点に立って種々の問題に対処できる知識、技術を持ち合わせた獣医師の育成が強く求められています。そこで、自国のみならず環境や社会的状況の異なる国や地域で学ぶ機会は、よりレベルの高い知識、技量、広い視点を持ち合わせた獣医師の育成に欠かせません。

アフリカは、各種の動物の感染症や人獣共通感染症の流行地です。そのため、日本の獣医学部生・大学院生にとって、アフリカにおけるヒト・動物の健康状況、公衆衛生・家畜衛生、現地における獣医学教育、獣医師の役割を直接学ぶ機会を得ることができれば、その意義は非常に大きく、また、アフリカの獣医学生・獣医師にとっても、地理的状況、社会的背景が大きく異なる日本における獣医師の役割、公衆衛生対策や臨床獣医療の現場から学べる価値は非常に高いと考えます。

山口大学はこれまで、東南アジアの各大学との獣医学教育研究連携を活発に行ってきており、国際水準の獣医学教育を背景とした東南アジア地域における獣医学教育研究体制の構築を推進しています。

一方、本事業のカウンターパートとなるケニア・ナイロビ大学は、同国のエガートン大学やルワンダ等のアフリカ諸国における大学獣医学部と教育ネットワークを築いています。そこで本事業では、遠隔システムによる共通講義やグループディスカッション、学生や若手教員の受け入れ・派遣による現地での実習・交流、企業や研究機関の協力による研修等を活用し、感染症対策を中心とした One Health に資する相互の獣医学教育の発展を目指します。将来的には本事業を足掛かりとし、山口大学（日本）を軸としたアジア・アフリカに広がる獣医学教育ネットワークの構築につながる事業を目指しています。

ケニア  
ナイロビ大学



共通講義・派遣・交流  
One Health 問題を現場で学ぶ

日本  
山口大学

ナイロビ大学の  
アフリカネットワーク



アジアとアフリカを結ぶ  
グローバルな視点を持つ  
獣医師の育成



アジア各国の  
大学獣医学部

## ■育成する人材像

獣医師の活躍の場は広く、公衆衛生・家畜衛生獣医師、臨床獣医師、研究者、教員等多岐にわたりますが、いずれの職種においても、ヒト・動物の感染症対策を基盤とした One Health に関する知識、技量は基本となります。そこで、本事業による教育プログラムで身につけた知識、技術、人的ネットワークを基に、獣医師の専門性を活かし、グローバルな視点から One Health の実践に貢献できる人材を育成します。

特に動物由来の新興感染症や家畜の感染症を対象とした研究者を志す獣医学学生を積極的に育て、日本・アフリカの両国において、実験室における基礎・応用研究から野外でのフィールドワークまで幅広い視点で感染症対策に貢献できる人材育成を目指します。

## ■実施プログラム

### 交流プログラム

学部学生の2週間程度の相互短期派遣

大学院生の1ヶ月から3ヶ月程度の相互長期派遣

フィールドを対象とした学術研究や感染症分野の高度感染症実習

### 遠隔講義システム

共通講義の実施、単位の認定

### 企業や自治体におけるインターンシップ

国内自治体、研究所等の公的機関や動物病院への訪問・体験学習

ケニア医学研究所、ケニア国際畜産研究所、動物病院への訪問・体験学習



日本人学生と実施する高度感染症実習

遠隔講義



発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場



山口大学「大学の世界展開力強化事業」パンフレット（禁無断転載）

発行：2021年3月 発行元：山口大学国際戦略室  
〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1

